

今回はなぜ入れ歯を入れることが重要なのかお話ししましたが、今回は患者さんの皆様方からよくある入れ歯に関する疑問についてお答えしたいと思います。

1. 入れ歯にはどんな種類がありますか？

入れ歯には総義歯（総入れ歯）と部分床義歯（部分入れ歯）があります。また、材料の違いで①レジン床義歯と②金属床義歯に分けられます。人工の歯を並べる土台のところを床といい、レジン床義歯では床の部分にプラスチックを使うのに対し金属床義歯では床の部分に金属を使用します。床に金属を使うことで床の厚みを少なくでき入れ心地もよくなります。

2. 入れ歯を作るのに必要な期間は、また慣れるのにどのくらいかかりますか？

読者の皆様は、銀歯と同じで入れ歯も型を採ったらその次の治療でできあがると思っておられるのではないのでしょうか。実は部分入れ歯でも総入れ歯でも他の歯の治療が必要ない場合は、入れ歯ができるまで最初の型採りから始まり最低5回程の通院が必要になります。ただ、入れ歯を作る前に悪くなってしまう歯を抜く必要がある場合は、歯を抜いた後、最初の型を採るまで最低1ヶ月以上、歯茎がかたまるのを待つ必要があります。また、部分入れ歯を作る方で、残っている歯に虫歯や歯周病がある場合はその治療が終わり次第型を採ることになります。いずれの場合も入れ歯完成後、通常数回の微調整（痛いところや具合の悪い箇所を治します）が必要になることが多いので今日入れ歯がお口に入ったからといってその日で治療が終わりとはなりませんのでご注意ください。

3. 入れ歯は1日中入れていてもいいのですか？

1日の中で、最初のくらの時間入れ歯を入れておくかについてはこちらつけの歯科医の指示に従ってください。ある程度慣れた後、もし痛み等具合の悪いところがあれば24時間入れていても構いません。ただしこの場合は毎日、柔らかめの歯ブラシで、歯のない入れ歯の顎の部分にあたる歯茎もマッサージュするように優しく磨いて下さい。これを粘膜ブラッシングといい、歯茎を引き締め丈夫にすることで、長時間入れ歯を入れていても耐えられる顎（歯茎）にすることが出来ます。部分入れ歯の方は自分の歯磨き時にいっしょに、そして総入れ歯の方も是非お試し下さい。もしそれができないという方は就寝時には入れ歯をはずした方がいいと思います。



第5回 入れ歯の話2 (入れ歯Q&A)

4. 入れ歯を入れるメリットは何でしょう？

いろいろありますが第一に今まで歯がない時に食べられなかったものが食べられるようになります。ただし、入れ歯を作った後すぐに何でも食べられるわけではありません。慣れるまでは軟らかいものから始め痛くなく咬めるようになってから徐々に咬み応えのあるものへ挑戦してみてください。あなたにぴったり合った入れ歯であればたいの物は食べられるようになるでしょう。第二にあなたの顔貌（見た目）が変わってきます。入れ歯を入れていない時は、言葉は悪いのですが、いわゆる「梅干婆さん」的に他の人には見られてしまいがちですが、入れ歯を入れることによりあなたに相応しい顔に戻ることが出来ます。実際、10〜20歳くらい若返ると言っても過言ではないでしょう。第三に歯がない時には難しかった発音ができるようになります。ただし、初めて入れ歯を入れる方は最初の1月程は逆に発音で苦労される場合もあります。しかしほとんどの人は入れ歯に慣れるにつれこの不具合も解消していきます。

5. 入れ歯の手入れはどうすればいいですか、また、市販の安定剤は使ってもいいのですか？

入れ歯はとても精巧にできていますので、誤って落としたり踏んだりすると、割れたりバネが変形する恐れがあります。従って入れ歯のお手入れをするときは洗面器に水を張るとか下にタオル等置くのがいいでしょう。また、入れ歯の汚れを取るには、専用の入れ歯洗浄剤と入れ歯用のブラシを使用して下さい。この際、歯磨き粉は使用してはいけません。なぜなら入れ歯のプラスチックの部分に傷がついてしまうからです。それから熱湯につけると変形してしまうのでぬるま湯か水で洗うようにして下さい。最後に市販の入れ歯安定剤ですが、正確に合った入れ歯には本来必要のないもので、逆にいえばこれを使わないと落ち着きが悪い入れ歯は既にあなたのお口に合っていないのです。そのような入れ歯を常時使用しているとおなたの大事な歯や歯茎、ひいては顎の骨まで痛めることになるため、もし入れ歯がゆるく感じるようでしたらすぐにかかりつけの歯科医を受診することをお奨めします。



総入れ歯の噛み合わせ